

令和2年度 事業報告

市民の積極的、自主的な文化活動の一層の促進と機会の充実を図るため、現代の文化・芸術の振興に資する事業、伝統的な文化を普及する事業、名古屋市文化施設の管理運営などを行い、もって個性豊かな魅力ある市民文化の創造に寄与した。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて延期・中止・内容変更などの対応を行った。

1 文化施設等を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業

文化芸術の振興を図るため、名古屋市から指定管理者として受託している文化施設等を活用して、様々な分野の文化芸術に関する体験事業や鑑賞事業を実施することで、市民が文化芸術に触れる機会と場を安定的に確保、提供し、豊かで充実した生活の実現に寄与した。

参加・体験事業

(1) 市民参加の朗読劇 ※補助金事業（決算額 3,704,570円）【変更】

朗読劇 モリエール風刺コメディ「病は気から」

公募による市民参加者で制作する公演から、少人数の俳優が出演する公演に変更するとともに、市民が参加できる取り組みを盛り込んだ公演に変更して、客席数を半数にして開催した。

日程／2021年1月16日(土)〈2回〉 会場／昭和文化小劇場

構成・演出／岡田一彦

出演者／末吉康治、黒河内彩、森島美玖、多嘉山秀一、結崎涼、和田紀彦、youu-ji、佐々木和代
岩田和丈

入場者数／220人（入場者好評価率／86.1%）

(2) 市民参加型コンサート NAGOYA GROOVIN' SUMMER 2020 ※補助金事業（決算額 2,977,472円）【変更】

オアシス21を会場として学生や社会人バンドが多数出演する音楽イベント「NAGOYA GROOVIN' SUMMER」を中止した。代替企画として、高校の部活動再開後に、プロアーティストより提供された楽曲を各学校で演奏し、収録したものをプロの演奏とミックスして、YouTube等で無料配信した。

NAGOYA GROOVIN' SUMMER [Virtual] ～ルピナス・プロジェクト～

日程／録音・撮影：2020年11月14日～12月26日 配信開始：2021年2月22日

出演校／3校（名古屋市向陽高校、工業高校、工芸高校 延べ67人）

楽曲提供・出演／Calmera

視聴回数／3,747回

(3) 子どもアートピア ※補助金事業（決算額 0円）【中止】

子ども向け・名古屋の魅力向上をテーマに、愛知芸術文化協会（ANET）との共催で令和2年度より3か年計画で実施する予定だったが、中止した。令和3年度より改めて3か年計画として実施する予定。

(4) 2020国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル in 名古屋

※自主財源事業（決算額 56,580円）【中止】

未来を担う子どもたちに国際レベルの様々な舞台芸術に親しんでいただく事業として実施する予定だったが、中止した。令和3年度に延期して実施する予定。

鑑賞事業

(1) 市民のための芸術鑑賞会 ※自主財源事業（決算額 4,826,760円）【一部中止】

優れた舞台芸術を鑑賞していただく3公演を計画したが、10月16日の人形浄瑠璃「文楽」、1月11日の「鬼太鼓座コンサート」は中止した。落語会は客席数を半数にして開催した。

桂文枝 春風亭小朝 東西落語名人会

日程／計画：2020年 5月26日(火)〈1回〉 会場／日本特殊陶業市民会館ビレッジホール

実施：2020年10月29日(木)〈1回〉 会場／日本特殊陶業市民会館フォレストホール

入場者数／700人（入場者好評価率／86.6%）

(2) 市民半額鑑賞会 ※自主財源事業 (決算額 1,461,590円) 【一部中止】

日本演劇興行協会加盟ホールである御園座の公演を半額で市民に提供した。
7～8月の5公演中3公演が中止された。

第1回	2020年 7月～ 9月	／応募枚数1,151枚	当選枚数 703枚	提供枚数 306枚
第2回	2020年10月～12月	／応募枚数1,946枚	当選枚数1,042枚	提供枚数 859枚
第3回	2021年 2月～ 4月	／応募枚数1,916枚	当選枚数 694枚	提供枚数 492枚
		計 5,013枚	2,439枚	1,657枚

(3) なごや子どものための巡回劇場 〈実行委員会形式〉※負担金事業 (決算額8,991,028円) 【変更】

演劇、人形劇、音楽劇、交響楽、伝統芸能、バレエ等の公演を、子どもたちに身近な会場（文化小劇場）で開催する予定だったが、全公演を中止した。代替企画として、無観客で上演した収録作品をYouTube等で無料配信するとともに、名古屋市内の児童養護施設等にDVDを配付した。

なごや子どものための巡回劇場テイクアウト

上演作品数／7作品

出演／名古屋オペラ協会、越智インターナショナルバレエ、狂言共同社、セントラル愛知交響楽団

劇団うりんこ、人形劇団むすび座、名古屋フィルハーモニー交響楽団

視聴回数計／6,668回 DVD配付先／児童養護施設・市立病院など17施設

(4) アッセンブリッジ・ナゴヤ2020 〈実行委員会形式〉※負担金事業 (決算額 999,611円)

名古屋港の周辺エリアで開催する音楽とアートのフェスティバル「アッセンブリッジ・ナゴヤ」（2020年10月24日～12月13日）のうち、「かたり、かなでる ～海のむこうと水辺から」の3公演を、ソーシャルディスタンスを確保した配席により開催した。

会場／ポートハウス（名古屋港）

- 1 うみとさかなのものがたり ～朗読×弦楽四重奏

日程／2020年10月24日（土）〈1回〉

出演／Le Bois Quartet、黒河内彩（朗読） 入場者数／59人

- 2 旅する歌の舟×アイルランドの風

日程／2020年10月25日（日）〈1回〉

出演／引田香織、小松大、大橋志麻 入場者数／51人

- 3 人魚姫 ～弦楽四重奏×語り×人形

日程／2020年11月21日（土）〈1回〉

出演／マーメイド・ストリングカルテット、益川京子（語り）、永井聖子（人形操作）

入場者数／55人

入場者数計／165人（入場者好評価率／93.2%）

友の会事業 ※自主財源事業 (決算額 7,945,765円) 【一部中止】

会員向けの落語会は客席数を半数にして開催し、古謝美佐子コンサート他2公演、ポカラの会の読み語り講座他3講座は中止した。催し物情報等を掲載した情報誌「友の会だより」を12回発行した。なお、会員期間延長サービスと、継続キャンペーンを行った。

- 1 事業団主催事業などの会員向け優先予約や割引

- 2 会員への情報提供事業

市内文化情報やイベント情報を毎月送付

- 3 会員を対象とする文化事業〈1事業〉

公演事業／春風亭小朝新春独演会

日時／2021年1月13日（水） 会場／日本特殊陶業市民会館ビレッジホール

入場者数／504人（入場者好評価率／91.6%）

- 4 会員期間延長サービス

エンジョイ会員／会員期限を3ヶ月延長

クリエイティブ会員／会員期限を3ヶ月延長、友の会だより同封サービス（年2回）と施設へのチラシデリバリー（年6回）を各1回追加

- 5 継続キャンペーン

2020年4月1日から2021年6月30日までに継続手続きあるいは新規入会をした会員には、鑑賞補助券や図書カードなどを特典として提供した。

2 表彰等の実施、活動の場の提供及び相談助言を通じて、芸術家及び文化芸術団体等の創造活動を支援する事業

文化芸術活動のうち創作や発表といった創造的な活動を行う環境を整備するため、文化芸術を支える芸術家及び文化芸術団体等を対象として、表彰・コンクールを実施するほか、活動の場を提供したり、相談に応じることを通じて、創造的な文化芸術活動を支援することにより、文化芸術の振興に寄与した。

(1) 総合舞台芸術公演 ※補助金事業（決算額 13,880,526円）【変更】

オペレッタ「伯爵令嬢マリツァ」は中止し、令和3年度に改めて実施することとした。代替企画として、稽古回数や期間、出演者数を縮減し、ソーシャルディスタンスを意識した演出で、過去の上演作品の楽曲を演奏するガラコンサートを、客席数を半数にして開催した。

ガラコンサート「I♡STAGE CONCERT ～ミュージカル&オペレッタ～」

日程／2021年2月20日(土)「ミュージカルステージ」、21日(日)「オペレッタステージ」〈2回〉

会場／青少年文化センター アートピアホール

構成・台本・訳詞・演出／池山奈都子 音楽監督・指揮／小島岳志

管弦楽／セントラル愛知交響楽団

出演者数／12人

入場者数／486人（入場者好評価率／94.3%）

(2) 企画コンペティションによる美術展

ファン・デ・ナゴヤ美術展2021 ※補助金事業（決算額 2,984,567円）【一部中止】

企画者・美術家からアイデアを公募し、コンペティションによる選考を経て斬新な美術展を開催した。

企画応募件数／22件

日程／2021年1月7日(木)～24日(日) 会場／市民ギャラリー矢田

企画／第2,5～7展示室「ABC Homeshopping」山内亮典

第3～4展示室「おばあさんの赤い石」平田昌輝

※第1展示室「Players」は中止した。

入場者数／1,014人（入場者好評価率／82.9%）

次年度企画応募件数／30件

(3) 舞台芸術創造事業 ※補助金事業（決算額 5,334,797円）

ワールドビタミンコンサート ～音楽でめぐる五大大陸の旅～

国際連盟設立100年、日本万国博覧会開催50年という国際交流を強く意識する年であることを踏まえ、世界五大大陸を代表する作曲家や音楽ジャンルを名古屋で活躍する芸術賞受賞者が演奏するコンサートとして、客席数を半数にして開催した。

日程／2020年12月5日(土)〈1回〉 会場／青少年文化センター アートピアホール

指揮／濱津清仁 構成・編曲／宗川諭理夫 管弦楽／愛知室内オーケストラ

出演者／井原義則、加藤恵利子、山下勝、窪田健志

入場者数／257人（入場者好評価率／92.5%）

(4) 名古屋市民芸術祭2020 ※補助金事業（決算額 6,305,848円）【一部中止】

総合的な芸術の祭典として、2020年10月～11月に名古屋市民芸術祭2020を開催した。なお、主催事業のうち「名古屋市民文芸祭」、「マッピング DE シェイクスピア『テンペスト～The Tempest』」の2事業を中止した。また、参加事業では、市民芸術祭賞を競うコンペティションをやめ、参加公演への採択件数を拡大した。

1 主催事業 入場者数計／9,996人（入場者好評価率／89.2%）

①7 GRAPHIC DESIGNERS IN NAGOYA 2020

日程／2020年10月21日(水)～26日(月) 会場／国際デザインセンター・デザインギャラリー

入場者数／725人

②名古屋いけばな芸術展2020

日程／2020年10月27日(火)～11月1日(日) 会場／市民ギャラリー栄

入場者数／6,413人

③名古屋市民美術展

日程／2020年11月17日(火)～22日(日) 市民ギャラリー栄

入場者数／2,858人

2 参加事業 入場者数計／6,557人

参加公演への採択件数を20公演から50公演に拡大し、40公演の参加申込を受け付け、37公演を採択し、34公演が実施された。

(5) 歴史文化普及啓発事業 やっとかめ文化祭〈実行委員会形式〉※負担金事業（決算額 5,996,327円）

歴史的建造物や文化資産を活用する名古屋独自の歴史文化のイベント「やっとかめ文化祭」（2020年10月24日～11月15日）のうち、名古屋の優れた伝統芸能を紹介する「芸どころ名古屋舞台～クール・ジャパンの宝物～」の3公演を、客席数を半数にして開催した。

- 1 日本の話芸「怪談づくし」
日程／2020年11月1日（日）〈1回〉 会場／名東文化小劇場
入場者数／144人
- 2 狂言「蟹山伏」 ろうそく能「安達原 白頭」
日程／2020年11月7日（土）〈1回〉 会場／名古屋能楽堂
入場者数／301人
- 3 日本舞踊で描く古典文学怪異譚
日程／2020年11月13日（金）〈1回〉 会場／名古屋能楽堂
入場者数／246人

入場者数計／691人（入場者好評価率／85.5%）

(6) 芸術創造賞 ※自主財源事業（決算額 800,178円）

前年度における芸術創造活動が特に顕著で、名古屋の文化芸術の向上と発展に寄与し、今後とも活躍が期待できる個人（団体）を選考し、第36回芸術創造賞を授与した。

授賞者／刈馬カオス〈演劇〉、角田鋼亮〈音楽〉
授賞式／2020年9月9日（水）

(7) イベント開催等支援事業 ※自主財源事業（決算額 6,318,904円）【一部中止】

1 イベント開催支援

イベントの開催を検討している主催者に、より質の高いイベントが制作できるよう、企画から実施に至るまでの開催支援を行うとともに、地元で活躍するアーティストの発表の場として機会を創出した。14件の受託を計画したが、11件が中止された。
受託件数／3件（揚輝荘企画事業、芸術と科学の杜、名古屋市民美術展）

2 名古屋市文化振興事業団チケットガイドの運営

事業団が管理する23施設をオンラインでつなぐチケット販売システムの運営、各種事業の案内など、地元の文化芸術をサポートするチケットガイドを事業団本部内で運営した。なお、公演中止等により一部のチケットで払い戻しの対応をした。
販売枚数／12,814件

3 文化芸術に関する相談窓口

各種助成金、サークル・団体紹介、公演やイベントに関する相談など、文化芸術に関する相談窓口をチケットガイドで運営した。
相談件数／270件

(8) ナゴヤ・パフォーマー事業 Nagoya POP UP ARTIST〈実行委員会形式〉

※負担金事業（決算額 2,392,949円）【一部中止】

ライセンスを持つパフォーマーが、地下鉄駅や商業施設などの登録会場でパフォーマンスを行う予定だったが、全ての活動を中止した。かわりに、実行委員会主催で、鑑賞者の事前予約制によりソーシャルディスタンスを確保した配席によるイベントを開催した。また、新規ライセンス発行のため、音楽や大道芸など幅広いパフォーマーを公募し、非公開でオーディションを実施した。

イベント「ショーケース・ライブin今池駅」

日程／2021年2月27日（土）〈1回〉 会場／地下鉄今池駅

来場者数／186人（事前予約者122人のうち来場者90人、当日来場者47人、エリア外鑑賞者49人）

好評価率／92.0%（エリア外鑑賞者を除く）

新規ライセンス発行

一次審査（書類、映像・音源による） 2020年7月21日（火） 〈応募数51組→16組選考〉

二次審査（オーディションによる） 2020年8月21日（金）～22日（土） 〈16組→14組合格〉

認定パフォーマー数／130組（116組が継続、14組が新規）

登録会場／メイカーズピア、今池ガスビル、名古屋城など市内18施設

(9) 文芸による名古屋の魅力発信事業

コトノハなごや〈実行委員会形式〉 ※負担金事業（決算額 0円） **【中止】**

名古屋の魅力発信と、文芸分野の普及・育成を目的として、名古屋にまつわる写真から連想する物語を公募し、優秀作品を表彰するとともに、作品募集期間中に参加体験プログラムを実施する予定だったが、中止した。

(10) Nagoyaチラシデザイン大賞 ※自主財源事業（決算額 425,614円）

市内で開催される文化芸術事業に関する広報用チラシを対象にデザインコンテストを開催し、優れた作品のデザイナーを表彰するとともに、応募されたチラシを展示した。

募集期間／2020年4月～2021年1月

応募件数／73件

受賞作品／大賞：カトウ ナナ「翼がもらえると聞いたんです。」

入賞：渡辺 有史「フォーレ室内楽全曲演奏会 ～鼓動と情景～ 第1回パリの群像」

日下部 圭祐「病は気から」

細見 龍司「山田純平特別公演 39 THANK YOU YAMADA JYUNPEI」

佳作：3件

作品展示／2021年3月16日(火)～21日(日) 会場／市民ギャラリー矢田 第7展示室

入場者数／156人（入場者好評価率89.8%）

2021年3月24日(水)～31日(水) 会場／文化情報ひろば（ナディアパーク7階）

(11) アクテノン記念 江崎演劇賞※自主財源事業（決算額 400,880円）

2018年6月にご逝去された故江崎順子氏（劇団・夏蝶）の遺志を受け継ぎ、ご遺族からの寄附金をもとに演劇賞を創設。近年の演劇活動がとくに顕著で、名古屋市域の演劇の振興に貢献のあった女性演劇関係者を選考し、「第1回名古屋女性演劇賞」を授与した。

授賞者／おぐりまさこ〈俳優・演出家〉

(12) 文化芸術関係者・団体活動支援事業 ※自主財源事業（決算額 31,491,036円）

活動の場が減少した文化芸術関係者・団体を支援するための事業を実施した。

1 応援ソングDVD制作・動画配信

愛知芸術文化協会（ANET）と緑区出身のシンガーソングライター藤田麻衣子との協働で「文化でナゴヤを応援！きみのあした♪プロジェクト」を企画。藤田麻衣子にはナゴヤが元気になる応援ソング「きみのあした」の作詞・作曲・歌唱を依頼しミュージックビデオ1作品を制作。また、同楽曲からインスピレーションを受けた動画作品をANETとともに6作品制作することで、創造活動の場を創出し、名古屋の文化芸術関係者の支援につなげた。なお、制作した動画作品はYouTube等で無料配信するとともに、DVDを製作し児童養護施設などへ配付した。

作詞・作曲・歌唱／藤田麻衣子

ANET企画者／西川千雅・夜久ゆかり、白樺八青、佐乃健介、木佐貫あつひさ、手嶋政夫、長谷川侑紀

ANET動画制作スタッフ・キャスト等／延べ294人

視聴回数／492,271回

DVD配付／46施設（児童養護施設、老人ホーム、病院施設など）

2 読んで聴いて楽しめる短編小説募集・配信

小説を応募できる特設ウェブサイト「Nagoyaヴォイシーノベルズ・キャビネット」を開設し、視聴者に元気や勇気、感動を与えられる短編小説を募集し、審査のうえ採択された作品を劇団員による朗読音声をつけて無料配信した。

審査委員／麻創けい子、奥山景布子、柴野理奈子、清水良典、内藤洋子、はせひろいち、広小路尚祈
藤真知子、山本直子

募集・配信期間／2020年7月～2021年3月

採択件数／132件（応募件数／286件）

朗読／劇座、総合劇集団俳優館、劇団うりんこ、劇団あおきりみかんをはじめ名古屋で活動する劇団の俳優109人

視聴回数／42,034回

3 文化芸術に関する情報を収集し、市民に提供する事業

文化芸術の活性化を図るため、市内を中心として活動する芸術家及び文化芸術団体等の創造活動の状況の調査及び資料収集を行い、それらの情報を情報誌の発行やウェブサイトの運営等の様々なかたちで広く発信することを通して、文化芸術に関する情報を広く市民に提供することにより、市内の文化芸術の活性化を図った。

(1) 文化情報誌の発行 ※補助金事業 (決算額 3,448,230円)

「なごや文化情報」(12ページ)を発行し、名古屋地域における舞台芸術、美術、文学、生活文化等の活動に関する情報を市民に提供した。

発行部数/8,000部

発行回数/6回(隔月刊)

(2) Webでの催し物案内 ナゴヤアートナビ ※補助金事業 (決算額 2,402,927円)

市内文化施設の催事案内のほか、市民主催の文化芸術イベントを掲載した。

アクセス件数/6,014件

事業掲載件数/2,473件

(3) 文化情報ひろばの運営 ※補助金事業 (決算額 6,344,225円)

名古屋地域で開催される公演のチラシの配架、ポスターの掲出、CINEMAPORTでの映画情報の提供、芸術関係の図書の閲覧コーナーを設けるなど、文化情報ひろばを運営した。

4 新たな文化芸術の推進に向けた事業の試行及び体制の検討

名古屋市文化振興計画2020に掲げる「新たな文化芸術の推進体制」の構築に向け、調査検討を進めるとともに、他分野と連携する文化芸術活動への支援等を試行実施した。

新たな文化芸術の推進に向けた事業の試行及び体制の検討〈実行委員会形式〉

※負担金事業 (決算額 15,473,661円)

1 推進体制の試行実施及び機能の検証

名古屋市等とともに名古屋市文化施策推進体制準備委員会を設置。専門人材としてプログラムディレクター1人、プログラムオフィサー3人、アシスタントコーディネーター1人の計5人を準備委員会で任命し採用。専門人材が事業の試行実施や情報発信等の業務を担当した。

2 事業の試行実施

①文化芸術活動連携支援事業助成金

文化芸術活動における先進性のある取り組みや新たな価値を創出する事業を公募。審査を経て採択された事業に対して伴走支援をするとともに、助成金を交付した。

採択件数/5件(応募件数/53件)

採択者/浅井信好(舞踊)、古田友哉(音楽)、山下佳孝(音楽)、坂田ブンテイ(音楽)、鈴木一絵(美術)

②パイロット事業

文化芸術活動の効果的な支援や中間支援のあり方について考えるため、文化芸術関係者を対象にウェブサイトにおいてアンケート調査を実施。また、有識者を招きアンケート結果等を踏まえた勉強会を開催するとともに、地域に根付いた活動を展開するため、専門人材と4人のレジデントアーティストによる実験的プログラムを開催した。

「勉強会」

日時/2021年2月21日(日)、26日(金)、28日(日)〈3回〉 会場/青少年文化センター 7th cafe

ゲスト/吉田隆之、高橋綾子

参加者数/40人

「場作りの実験 - 長者町コットンビル編 -」

日時/2021年3月7日(日)~8日(月) 会場/長者町コットンビル

レジデント/青木一将、河部圭佑、城戸かれん、西山弘洋

入場者数/106人

③情報発信

助成金事業やパイロット事業の情報をウェブサイト等で発信。また、専門人材が担当した試行実施事業についての報告書を作成し関係各所に配布するとともに、ウェブサイトにおいて公開した。

5 文化活動拠点づくりのための文化事業

市民の文化芸術の活動の場として提供し、併せて施設及び地域の特性を生かした文化事業を行った。

(1) 施設管理

名古屋市から指定管理者として受託した名古屋市芸術創造センター、名古屋市青少年文化センター、名古屋能楽堂、名古屋市文化小劇場15館（中村・南・西・港・天白・名東・守山・北・緑・東・熱田・千種・中川・瑞穂・昭和）、名古屋市民ギャラリー2館（栄・矢田）、名古屋市演劇練習館、名古屋市東山荘及び名古屋市上社レクリエーションルーム、合計23施設の管理運営を行った。

※芸術創造センター(2020年4月1日～2021年9月30日)、熱田文化小劇場(2020年4月1日～2021年3月16日)は天井脱落対策工事のため休館

(2) 施設事業

上記の23施設において、当初計画した467事業のうち195事業を中止し、272事業を実施した。なお、主な事業として掲げた計画のうち市内の小学4年生を対象とした「未来の鑑賞者育成事業」と、ひとり親家庭などを公演に招待する「スマイルギフト」を中止した。

主な事業

1 ポッシブル!@WEB:NAGOYA

文化芸術活動を自粛・縮小せざるを得ない状況に置かれたアーティストの活動の場と、市民が在宅でも文化芸術を享受することができる機会の創出を目的として、ウェブ空間での交流イベントや各種講座・ワークショップ等の企画を募集し、採択したものをオンラインで開催した。

募集・配信期間/2020年6月22日(月)～2021年1月29日(金)

採択件数/56件(応募件数/65件)

参加者数/622人

2 劇場パートナー

(1) 劇場パートナーの運営

各文化小劇場において、文化芸術活動の促進と地域コミュニティの形成による地域課題の解決を目的に、子どもから高齢者までが参加する様々なジャンルの実演団体を運営した。

中村文化小劇場	劇団 座・なかむら(演劇)
南文化小劇場	みなみシニア吹奏楽団(吹奏楽)
西文化小劇場	西文化小劇場オペラ合唱団(オペラ)
港文化小劇場	みんなとみなとコーラス(合唱)
天白文化小劇場	劇団 天白月夜(演劇)
名東文化小劇場	めいとうママ楽団オハナ(吹奏楽)、名東文化朗読舎(朗読)
守山文化小劇場	もりっこ彩合唱団(合唱)
北文化小劇場	The Polar Star Jazz Orchestra(音楽)
緑文化小劇場	劇団みどり(演劇)
中川文化小劇場	合唱団クローバー(合唱)
瑞穂文化小劇場	子どもオペラ劇団 瑞穂コペレッタ(オペラ)
昭和 culture 小劇場	子どもミュージカル劇場 show-Wa!(ミュージカル)、名古屋昭和交響楽団(オーケストラ)

(2) ナゴヤ大文化まつり

コロナ禍の取り組みとして文化庁や公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、愛知県文化振興事業団と連携して実施した「JAPAN LIVE YELL project @ AICHI」にて、全劇場パートナーの合同公演「ナゴヤ大文化まつり」を日本特殊陶業市民会館ビレッジホールにて実施した。

3 至宝のピアノをひとりじめ! 弾いてみよう! スタインウェイ

世界三大ピアノの一つであるスタインウェイピアノを有する劇場を活用し、気軽にホールでスタインウェイピアノに触れる機会を低価格で提供するピアノ試弾会を開催した。

開催時期/2020年11月19日(木)～12月20日(日)全45枠

会場/芸術創造センター、青少年文化センター、守山文化小劇場、緑文化小劇場

参加者数/45人

事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がありませんので、附属明細書は作成しておりません。